

『ジョイフルオフィシャルサイト』一新!

4月10日からジョイフルオフィシャルサイトが4年ぶりに一新しました!メニュー情報だけでなく、会社情報をわかりやすく説明し、また株主様や一般投資家の皆様へ、IR情報を適宜お伝えしております。

さらに新卒社員や中途社員の採用応募をスムーズに行なう為、採用情報ページも一新し、当社の風土や先輩社員からのアドバイスなども取り入れ、親しみやすい内容に変更を行ないました。

詳しくは
<http://www.joyfull.co.jp/> まで!

メニュー情報



採用情報

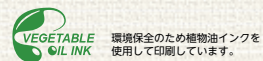


会社情報・IR情報



株式会社ジョイフル

〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号
TEL.097-551-7131(代)



2012 BUSINESS REPORT



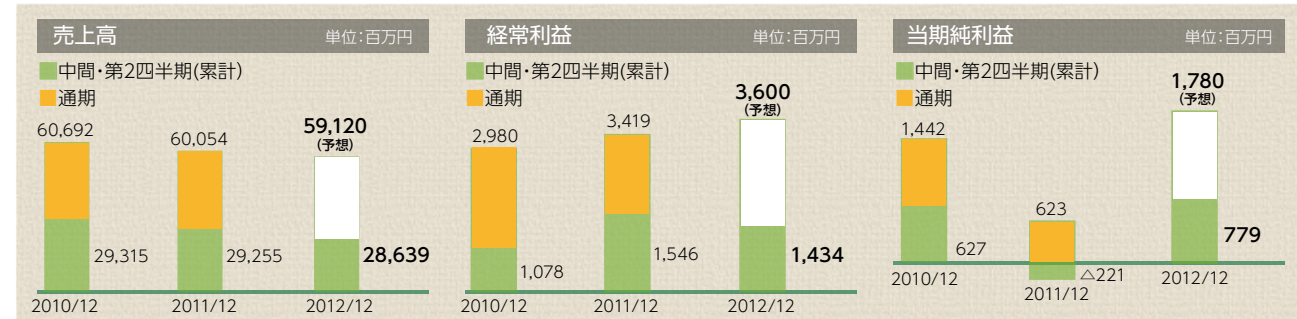
経営理念

私たちは、チェーンレストラン事業を通じ、顧客・株主・従業員・取引先・社会の、精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル店員の誓い

私たちは、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

連結業績ハイライト



株主の皆様へ

財務体制を整え、堅実な経営を目指しております。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、ここに第38期(2012年12月期)の中間事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますよう、宜しく願い申し上げます。

まずは、九州北部豪雨で被害を受けた方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

本年度においても、世界各地での巨大地震の発生、また、日本では8年ぶりに6月に台風が上陸するなど、地球規模での環境変化が進んでいる状況にあります。

また、原発問題に起因する節電・計画停電など国内における諸問題も多く、解決に向けた糸口が見えず、昨年引き続き激動の状態が日本経済に大きな影響を与えております。

外食産業においては、消費者のライフスタイルの変化により夜間の顧客動向が鈍化しており、先行き不透明感が否めない状況にあります。

このような状況下、当社は「何が起こっても動じない、堅実な経営」の構築を目指し、財務体制を整えつつ経営活動を行なってまいりました。

さて、当社の中間期の状況は、売上高計画比99.7%、経常利益高計画比110.4%とほぼ年初計画とおりに推移しております。これは、消費者の皆様へ季節感を感じていただける商品や外食消費支出動向を考慮した商品提案により、ご支持をいただいたと考えております。

また、春先に販売した「みずじステーキ」など、付加価値の高い商品を可能な限り低価格で販売し、お客様のご支持をいただいた結果であるとも考えております。

なお、本年度は約4年ぶりとなる新規出店を行いません。4月の岐阜県各務原市への出店に続き、7月には岐阜市柳津町にも出店を行いました。今回の出店店舗は当社の強みである小商圈型の新たな店舗モデルであり、今後の成長戦略の検証店舗でもあります。

今後も不確定な時代・激動の時代が予想されるなか、当社におきましては経営の堅実性を重視し、安定的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
穴見陽一

2012年上期の振り返り

営業力・商品力の向上に更に取り組み、収益構造の確立を推進。

営業施策

**人材の充足と
従業員の能力開発に注力。**

将来の幹部候補育成に向けて本年度は例年にも増して積極的な採用を行なうべく、主要地域において説明会・選考会を実施しております。

また、店舗におけるQSCレベルの向上と自立した店長育成によりお客様に喜んでいただけるお店作りを目指しており、その一環として、店舗オペレーション力向上を目的とした従業員教育に注力しております。



商品施策

**自社工場製品比率の向上と
取扱い食材数の絞込みに注力。**

自社工場製品比率を向上させ、価格引き下げを行なうことで、お客様に少しでもお安くご利用いただくことを目的に、主力食材の内製化に取り組んでおります。本年度上期においては、グリル商品の値下げを実現いたしました。

また、取扱い食材数の絞込みも随時行ない、より効率的でかつ1品毎の質の向上に努めました。



2012年下期の取り組み

上期の施策で得られた効果をより醸成すると同時に、引き続き各施策を継続してまいります。

下期はグランドメニューの改定や各種フェアの実施・情報発信を行い、お客様の購買意欲を向上させる施策を展開していくと同時に、店舗従業員の一層の教育および店舗環境の整備を随時行ない、お客様に喜ばれるお店づくりを推進してまいります。

また、業務効率の向上を図り、利益確保に努めてまいります。



2012年上半期新規出店

成長戦略へのステップ準備
新規出店を再開！

本年度は約4年ぶりに新規出店を行ないました。当社の強みである小商圏型のモデル店舗を更に進化させております。

今回の出店結果を検証し、全国津々浦々まで出店し、地域に貢献できるよう注力してまいります。



かかみがはら

各務原店 2012年4月16日オープン

名鉄岐阜駅から車で約30分に位置する人口約15万人の各務原市。岐阜市や名古屋市のベッドタウンとして発展を遂げております。出店環境は生活道路に沿っており、当社らしい環境下での出店を行ないました。



店舗内観

2名席を多く配置し、少人数のお客様から団体様まで対応できるように既存タイプの店舗から変更を行なっております。

ぎふやないづ

岐阜柳津店 2012年7月10日オープン

岐阜市は岐阜県中南部に位置し、人口約42万人の中核都市。競合他社は多いものの、生活道路に面した交通量の多い環境にあります。最寄駅は車で約2分の所にあり、イオン柳津店の駐車場の一角へ出店。近隣は住宅地であり、ショッピングセンターからのお客様もご来店いただける好立地環境に出店を行ないました。

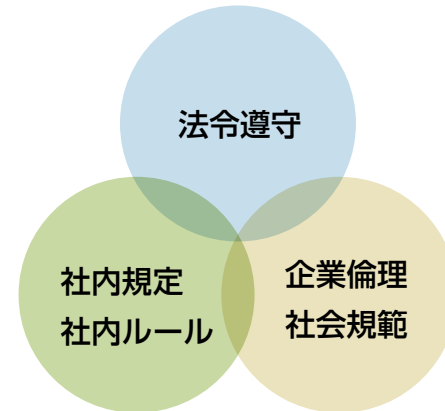


コンプライアンスマネジメント体制

社業の安定的な成長と発展のための基盤作りとマネジメント体制の充実を図っております。

コンプライアンスについての当社の考え方

経営諸活動の全般にわたる管理及び運営の制度並びに業務の遂行状況を、合法性と合理性の観点から検討及び評価を行ない、会社財産の保全ならびに経営効率の向上を図り、社会からの信頼を堅固なものとして、社業の安定的な発展を図っております。



コンプライアンスの定着・浸透を図る

現状分析の
実施

幅広い
協議・検討

リスク検討会の 定例開催

リスク検討会の設置

顕在及び潜在するリスクに対し、影響度と頻度の検討を行ない、対応に繋げることを目的に代表取締役直轄の組織として2012年に設置致しました。

検討会は原則として毎月開催し、現在・未来に向けた課題とその影響度及び頻度について、管理レベルまで検討し、その取り組み内容の定着と浸透を図るための措置等について、幅広く協議・検討を行なっています。

2012年度の実績

- 情報関連の保護と規制に関する規程見直し
- 内部通報における通報者の保護体制強化
- 内部統制内容の充足と更なる合理化
- 監査部門の人員充足による業務精度向上
- セクシャルハラスメントに関する窓口の社内周知活動
- パワーハラスメントに関する窓口の社内周知活動



直営工場の安全管理体制

当社の直営工場は大分・熊本・愛知の3箇所があり、ジョイフルの店舗で使用する主要食材の製造を行なっております。

消費者の食の安全・安心への関心がより高まる中、当社工場においてはこれまでとより厳格な衛生管理を行ない、お客様からいただいております当社への信頼を保持すべく、工場の安全管理体制を構築しております。



事前準備から製造完了まで一貫した衛生管理



工場で使用する原材料の検査から、製造後のX線検査・目視による不良チェックなど、全ての製造品目について品質検査を行ないます。

もし異常が発見された際は出荷をストップし、社外の検査機関にて検査を行なう場合もあり、安全な製品以外は出荷しないというスタンスを守り続けています。

CSR活動

地域社会に貢献することを目的として、各種支援活動・貢献活動を積極的に行なっております。

青少年「えがお」プロジェクト

大分市内青年6団体が企画した東日本大震災復興支援青少年「えがお」プロジェクトを支援いたしました。



地域祭事への支援活動

地域活性の為に実施される祭事などにも積極的に参加し、地域住民の皆様とのふれあいを大事にしております。

愛のともしび運動

使用済み切手を回収し、施設寄付を行なう、視覚障害者支援活動に取り組んでおります。

青少年スポーツ大会

地域における青少年スポーツ大会へ協賛。

食の安全・安心

「栄養分析値」「アレルギー情報」「原産地情報」の開示。

未成年者の飲酒喫煙撲滅運動

未成年者の健全な育成と法令順守に基づく営業を行なっております。

地域支援活動

店舗周辺における生活道路の清掃活動や、登校時の横断歩道での交通整理を行い、地域の安全を願っています。



職場体験活動の受け入れ

小・中学生の社会学習を積極的に受け入れ、店舗実習や職場見学を通じ、地域における学習の場を提供しております。



連結財務諸表

(注)金額は百万円未満を切捨表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産	5,961	5,180
固定資産	21,358	20,842
有形固定資産	16,518	16,098
無形固定資産	78	71
投資その他の資産	4,761	4,672
資産合計	27,320	26,022
負債の部		
流動負債	8,653	7,651
固定負債	6,623	5,843
負債合計	15,276	13,495
純資産の部		
株主資本	12,042	12,528
資本金	1,596	1,596
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	11,826	12,312
自己株式	△3,771	△3,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△1
その他の包括利益累計額合計	0	△1
純資産合計	12,043	12,527
負債純資産合計	27,320	26,022

Point 資産の部
当第2四半期連結会計期間末の総資産は260億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9千7百万円の減少となりました。これは主に有価証券の減少、減価償却費による有形固定資産の減少、原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

Point 負債の部
当第2四半期連結会計期間末の負債は134億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億8千万円の減少となりました。これは主にその他(未払費用)の増加、長期借入金の減少、その他(未払金)の減少、買掛金の減少、1年内償還予定の社債の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

Point 純資産の部
当第2四半期連結会計期間末の純資産は125億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千3百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

連結損益計算書(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	29,255	28,639
売上原価	10,181	9,808
売上総利益	19,074	18,831
販売費及び一般管理費	17,500	17,377
営業利益	1,573	1,453
営業外収益	47	54
営業外費用	74	73
経常利益	1,546	1,434
特別利益	4	—
特別損失	985	—
税金等調整前四半期純利益	565	1,434
法人税、住民税及び事業税	496	583
法人税等調整額	290	70
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△221	779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△221	779

Point 売上高
顧客の消費動向に沿った商品施策により既存店の客数は前年同期をクリアしたものの、低価格帯商品の充実により客単価が低下した結果、既存店の売上高は前年同期比98.6%となりました。また前期に契約満了等により直営4店舗が閉店したため、その分の売上高(約2億円)が減少した結果、減収となりました。

Point 経常利益
販売費及び一般管理費は業務の効率化や全社による経費削減に努めた結果減少したものの、前記売上高の減収により粗利益が減少したため減益となりました。

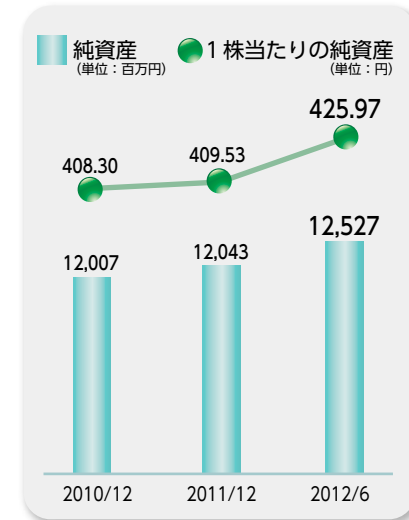
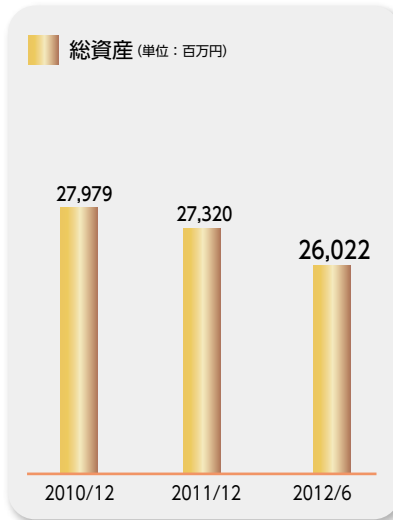
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004	1,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445	537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△1,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△552	347
現金及び現金同等物の期首残高	3,258	2,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,705	3,190

Point 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果得られた資金は11億1千万円(前年同四半期比10.6%増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益14億3千4百万円、減価償却費5億6千4百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額7億4千9百万円です。

Point 投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果得られた資金は5億3千7百万円(前年同四半期は4億4千5百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入8億円であり、支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出2億9千3百万円です。

Point 財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果使用した資金は13億円(前年同四半期比17.1%増)となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出5億9千2百万円、社債の償還による支出4億1千5百万円、配当金の支払額2億9千3百万円です。



株式情報

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000株

発行済株式の総数
31,931,900株

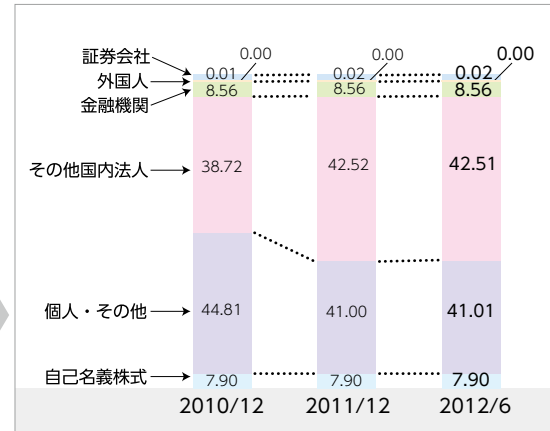
株主数
10,276名

株式の所有者別状況

	2010/12 (2010年12月31日現在)		2011/12 (2011年12月31日現在)		2012/6 (2012年6月30日現在)	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	8	4,406	7	5,620	7	5,012
外国人	1	100	3	1,200	4	1,200
金融機関	14	2,733,362	14	2,733,562	14	2,733,662
その他国内法人	78	12,362,366	74	13,575,966	77	13,575,266
個人・その他	9,688	14,308,932	9,936	13,092,608	10,173	13,093,770
自己名義株式	1	2,522,734	1	2,522,944	1	2,522,990
合計	9,790	31,931,900	10,035	31,931,900	10,276	31,931,900

STOCK INFORMATION

株式の所有者別構成比率の推移 (単位: %)



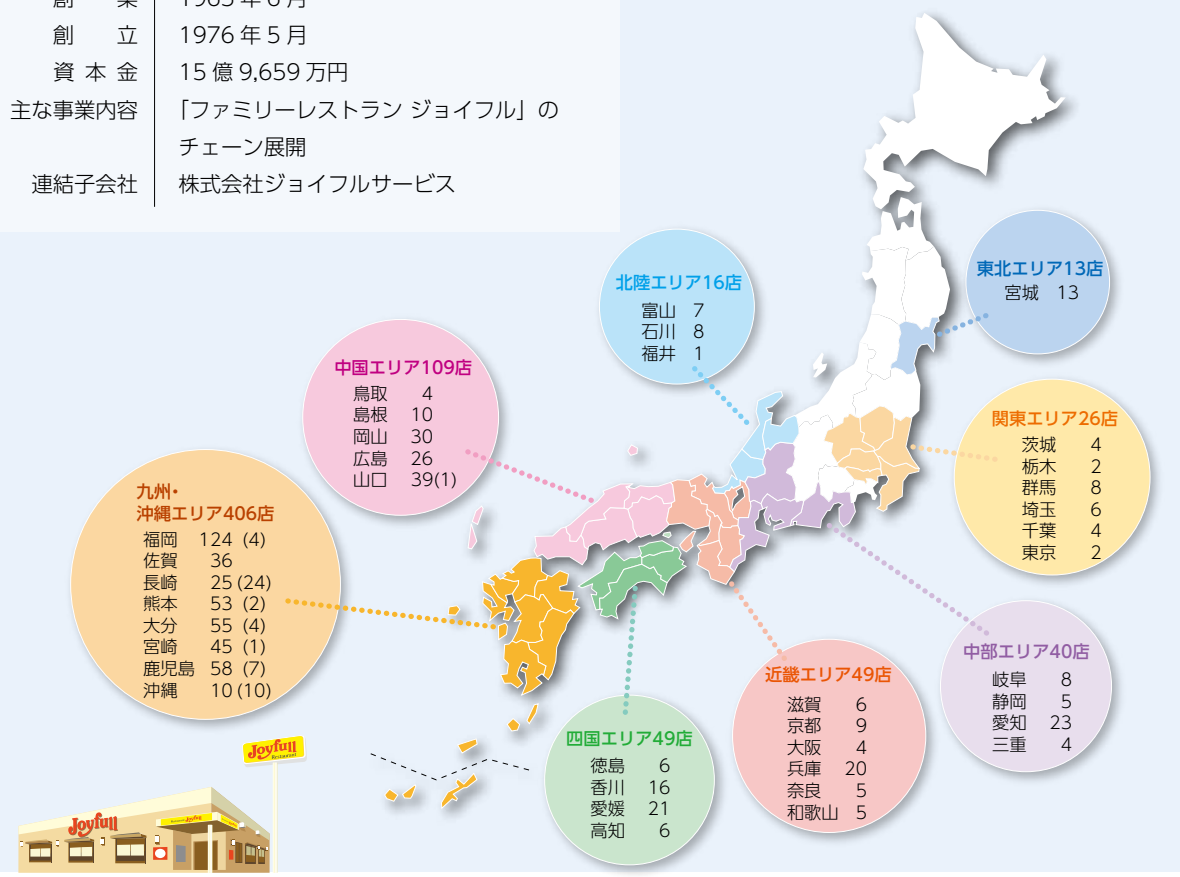
会社情報

CORPORATE PROFILE

会社概要 (2012年6月30日現在)

社名	株式会社 ジョイフル
本社所在地	大分県大分市三川新町一丁目1番45号
大分工場	大分県大分市三川新町一丁目1番45号
大分配送センター	大分県大分市下郡中新地3410-1
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445-4
愛知工場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1-17
創業	1965年6月
創立	1976年5月
資本金	15億9,659万円
主な事業内容	「ファミリーレストラン ジョイフル」のチェーン展開
連結子会社	株式会社ジョイフルサービス

店舗一覧
店舗ネットワーク
708店
うちFC店舗53店
※()内はFC店舗



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 基準日 定時株主総会の議決権毎年12月31日
 期末配当金 毎年12月31日
 中間配当金 毎年6月30日
 (中間配当を実施する場合)
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) TEL. 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行なっております。
 公告の方法 電子公告の方法により行ないます。
 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 公告掲載URL http://www.joyfull.co.jp/
 上場取引所 福岡証券取引所

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。